

5. 配信が強制中止された場合の再送方法 ～エラー情報を取得していない場合～

エラー情報を取得していない場合、前記の通り配信済みリスト（配信が強制中止されるまでに配信されたリスト）を除外した上で、さらにリストを分割し、配信時間を分散した上でゆっくりした配信を一度行い、エラー情報を確定させてください。そのエラー情報をもとにエラーメンテナンスを行った上で一斉配信が可能となります。
具体的なリスト分割数、配信の分散時間に関しては配信の要件によって異なるため、ユーザーズデスクにご相談ください。

(1) リスト分割について

データベースに格納されているデータを、抽出ルールを用いて分割し、抽出ルールごとに配信設定を設定します。

1) DBオペレーションにて登録されているデータのIDの最小値と最大値を確認してください。

- ① DBメニューをクリック
- ② DBオペレーションメニューをクリック
- ③ 配信対象DBの表示をクリック
- ④ 検索条件クリアした上で検索結果一覧タブをクリック
- ⑤ 登録されているIDの最小値を確認
- ⑥ 検索結果のソートのプルダウンを昇順から降順に変更
- ⑦ 登録されているIDの最大値を確認

2) 分割数分の抽出ルールを作成してください。

- ① DBメニューをクリック
- ② データベースの抽出ルール設定メニューをクリック
- ③ 配信対象DBを選択
- ④ 抽出ルール名を設定
- ⑤ IDによる抽出範囲設定にチェックを入れ、
- ⑥ IDの最小値と最大値から分割数を計算の上、IDによる抽出範囲を指定
- ⑦ 新規作成をクリック ※分割数分の抽出ルールを作成

3) 配信が強制中止された配信設定を呼び出し、STOPDBを適用、抽出ルールを適用の上再送します。

- ① メールメニューをクリック
- ② 配信が強制中止された配信の設定ボタンをクリックし、設定を呼び出す
- ③ 配信リスト設定のデータベースの抽出ルールにて、作成した抽出ルールを選択
- ④ 配信リスト設定のSTOPデータベースにて、作成したDBを選択
- ⑤ 件名や文面などが再送したい内容かを確認
時間指定で配信時間を分散し、
スタンバイは「OK」を選択
- ⑥ 試算ボタンをクリックし、配信可能件数が想定している配信数か確認
- ⑦ 新規に予約ボタンをクリック ※分割数分の配信設定を作成